



碧空



第2号

令和4年度がスタートして、3ヶ月以上が過ぎ、今日が1学期の終業式となりました。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインによる実施となりました。

1学期終業式の校長講話 作り上げるのは全員の力

今日で1学期が終わります。4月からはじまったこの4ヶ月間、皆さん一人一人にとって、どんな学期だったでしょうか。そして、学級の目標や個人としての目標は達成できたでしょうか。また、少しでも自分の色を輝かせるために、目標に向かって本気で取り組み、目標に近づけたでしょうか。ぜひ、そのことを自分自身で考えてみてください。(中略)

全校では、朝の挨拶の音が、大きくなってきました。私が気づかないときでも先に声をかけてくれる人がたくさんいます。

特別教室での授業で、誰もいない教室の机や椅子が、全員きちんと整頓されている学級があります。

水泳の授業の時、脱いだ靴や靴下が、廊下にきちんと並べられています。

掃除のはじめと終わりの移動で、黙って移動できる人が増えてきました。

校友会活動で、100%を達成した学級がいくつもありました。

これらは、一つひとつは、小さなことです。誰でも、やろうと思えばできることです。一人一人が、当たり前のことを当たり前で凡事徹底して取り組んでいる成果です。こういう生活の中での小さなことをめんどくさくなく丁寧に取り組むと、その姿勢が授業や学習にも生きてきます。これからも一つひとつ丁寧に頑張っていきましょう。

けれど、これは一人の力だけではできないことです。学級や、学年、全校の皆さんの気持ちが一つに向いていかないと、こうした素晴らしい姿にはなりません。「乱すのはたった一人の雰囲気、作り上げるのは全員の力」です。2学期も、学級、学年、全校の力を合わせて、みんなが笑顔で過ごせる常盤中学校を作っていきます。

さて、明日からいよいよ夏休みになります。27日間の長い休みです。ぜひ、日頃できないことに挑戦してください。私からのお願いは3つです。

1つ目は、もちろん勉強です。学生の本分です。小学校6年生のとき、私は算数が大の苦手でした。繰り上がりのある足し算は指を使っていました。復習しろと言われても、どこがわかっていないのかわからない…よくわからないのに、授業ではほとんど次から次へと難しい内容が進んでいってしま…ますますわからなくなる…と悪循環でした。

6年生の夏休み前、父に「お前は3年生の算数もわかっていない」と言われ、親子げんかになりました。頭にきた私は売り言葉に買い言葉で1年生からやり直すことになってしまいました。そして夏休み、1年生からのドリル帳を全部…なかなか迫力の量でしたが…1年生の1学期「ひよこは何匹ですか?」「このカエルは何番目でしか?」「3+2=」なんていう問題もバカにしないで順番にすべて解いていきました。1年生は1時間もかかりません。調子に乗ってどんどん進めることができ、夏休み中に全部復習することができました。休み明けの授業で、「算数の授業の言葉」がよくわかるようになっていました。休んでいたところや、忘れていたところを順番に取り組んだことで、分からなくなっていたところが分かるようになったのです。

おかげで、2学期から数学が得意な教科になりました。

これは小学校の時の話ですが、中学校でも同じです。いつでもやり直すことはできます。「もう遅い」なんてことはありません。自分の人生の中で、今日が一番若いのです。今が一番早い時期なのです。明日になったら全員1日歳を取ってしまいます。「もう遅い」なんて悩んでいる時間がもったいない、今始めることが大切です。

そこで、学校で、スマイルネクストというクラウドを導入しました。そのなかに「スマイルドリル」というものがあります。全教科、小学校1年生からの問題が入っています。eラーニングより、ゲーム感覚でやりやすいと思います。苦手な教科がある人は、ぜひ取り組んでみてください。得意な教科はどんどん先に進んでも構いません。宿題もありますが…やるなら、「今」です。

普段はなかなかできない勉強、自分に必要な勉強に取り組んでください。

2つ目は、伝統文化を大切にしてください。夏休み中、お祭りがあつたり、お盆でお墓参りをしたり、それぞれの家で、いろいろな伝統があると思います。いずれは、皆さんが受け継いでいくものです。動画に撮っても、紙に書いても伝えきれないものがそれぞれの行事や伝統の中にあります。実際に参加して、その雰囲気、空気感、こめられた気持ちも大切に感じて、記憶して行ってください。将来それを受け継ぎ実行するかは、一人一人が考えて行って決めることです。けれど、今見て、覚えておかないと、なくなってしまう伝統文化もあります。おじいさんおばあさんに話を聞いたり、一緒に作ったり参加したりすることもいいと思います。それぞれの家庭・地域の伝統文化を大切にしてください。

3つめは、家族との時間を大切にしてください。家族と一緒にいる時間が長くなると、言いたいこと、腹が立つこともできます。家族だからこそ、言葉がきつくなることがあります。その時、家族へ「3秒の心遣い」を忘れないようにしてください。まず、「3秒」相手のことを考えましょう。お家の方も疲れているかもしれません。忙しくて何か困っているかもしれません。仕事でなかなか家族が家にいない人もいるかもしれませんが、普段よりはゆっくり話をする機会もあると思います。ぜひ、学校のことや自分の将来のこと、夢など、いろいろなことを話してください。その時、ただ自分の感情をぶつけるだけでなく、自分の気持ちが伝わるように、自分の言葉遣いに注意しましょう。

おだやかな言葉遣いをすると、相手も穏やかになり、安心できる生活につながると思います。

家族のために自分ができることを考えて取り組んでみるのもいいでしょう。ぜひ、家族との時間を楽しんでください。

最後に、新型コロナウイルス感染症は医療警報が出され警戒レベル4です。まだまだ収まっていません。須坂市内でも感染者が多い状態です。毎朝の体温の測定、外出するときのマスクの着用、手指消毒など、感染予防をしっかりとしましょう。暑い時には熱中症対策も忘れずに行ってください。万が一心配な状況があつたら、学校にも知らせてください。

交通事故やケガ、外出時の決まりに注意して、8月19日 2学期の始業式でみなさんの元気な顔を見るのを楽しみにしています。

今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を十分に行い、できることを考えながら学校行事を実施してまいりました。各学年の1学期の様子をお伝えします。

1学年 妙高自然体験学習

1学年は、5/31(火)に妙高高原の豊かな自然を感じ、学年・学級の仲間とのつながりを深めることを目的にした自然体験学習を実施することができました。妙高アドベンチャープログラムでは、グループの仲間と一緒に相談したり、助け合ったりしないと解決できない様々な課題を、体をいっぱいを使って楽しみました。樹木オリエンテーリングでは、班ごとにまとまって森の中の木を探しながら、ヒントカードを使って木の名前を考えました。班のまとまりを崩すことなく、みんな笑顔で行動することができました。この自然体験学習で学んだ友達との協力することの楽しさ、一人一人の行動が学年のまとまりを作っているという自覚を、これからの日々の学校生活に生かして行ってほしいと願っています。



2学年 職場体験・農業体験学習

2学年は、5/31(火)、6/1(水)の両日に農業体験・職場体験を行いました。翌日の生活記録には「楽しかった」という言葉がたくさんありました。でも中には「疲れた」「肩と首が…」なんていう正直な感想もありました。それだけ頑張ったということだと思います。

農業体験も職場体験も、地域の方が生徒たちのために都合をつけて受け入れてくださいました。高価な機械やかわいい動物、大きな車や様々な材料を用意して学校に来てくださった地元企業の方々。リンゴやブドウのこと、須坂の農業のことまで熱心に話してくださったり、大切な樹木を実習で触らせていただいたりして、みんなを受け入れてくださった農家の方々。本当に貴重な、いい体験をさせてもらうことができました。保護者の方にも送迎等お世話になりありがとうございました。そのことも含めて、まわりの人たちに支えられて様々な活動ができているということにも感謝できる子どもたちであってほしいと思います。



3学年 キャリア学習講演会・進路講話

3学年は、5/31(火)、6/1(水)の午後に須坂東高等学校、須坂高等学校、長野日本大学高等学校、須坂創成高等学校の校長先生方に来ていただき、これからの進路選択や高校についてのお話を聞きました。4人の校長先生方は口をそろえて「目的を持って高校を選び、来てほしい、自分から積極的に色々な事に取り組める人になってほしい」と話をされていました。また、公開授業や体験入学の紹介があり、各校を調べてよく高校のことを知ってから進路選択をしてほしいとアドバイスしていただきました。それぞれが今から何をすべきか考えるきっかけとなる講話でした。



長期休業中における学校閉庁日について

今年度も須坂市内の小中学校は、令和4年8月10日(水)～16日(火)を学校閉庁日(学校リフレッシュ・ウィーク)として設定させていただきました。この期間は終日、留守番電話対応となりますので、ご承知おきください。なお、緊急事態の場合は、須坂市役所の代表電話番号(245-1400)まで、ご連絡ください。

須坂市立常盤中学校
担当：北澤 佳一(教頭)
電話：245-0326